

総合型入試〔プレゼンテーション型〕【理工学部】について

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕【理工学部】について教えてください。

A ①コンピュータ、機械、通信などの技術とその数理的な説明について関心を持ち、それらを主体的に学ぼうとする意欲を持つ人、②大学院への進学に興味と意欲を持つ人、を募集する入試です。入試では、プレゼンテーション、質疑応答、小論文などを通じて、論理的思考力や表現力を評価します。入学後は、その主体性や思考力・表現力を発揮して、PBL 実践演習、各学科の演習、卒業研究などで優秀な成績を収めることを期待します。なお、この入試による入学者は、理工学部の早期卒業制度に推薦し、これによって大学院理工学研究科博士前期課程への進学を奨励する予定です。

出願資格について（『入学試験要項 総合型入試〔プレゼンテーション型〕』『4. 出願資格』）

Q 外国人でも受験できますか。

A 出願資格を満たしていれば、受験することは可能です。

Q 社会人でも受験できますか。

A 受験に関して年齢の上限はありません。出願資格を満たしていれば、どなたでも受験することは可能です。

Q 南山大学の他学部・他学科の総合型入試と併願できますか。

A 第1次審査がある総合型入試との併願は可能です。ただし、第2次審査はいずれかの学部を選択し、出願してください。また、総合型入試に合格後、別の入学試験で他学部・他学科を受験することも可能です。

Q 他大学との併願はできますか。

A 他大学との併願は可能です。本入試は併願可能型の入試です。

Q 出願する条件として、【調査書】の学習成績の状況の基準はないのでしょうか。

A 調査書の学習成績の状況については、出願基準としては設けていません。調査書と各審査の結果に基づき、総合的に可否を判定します。ただし、理工学部は特に数学の学習成績を重視します。

Q 必ず大学院へ進学する者しか出願できませんか。

A 現時点で大学院への進学に興味と意欲を持っていれば結構です。

出願書類の準備について（『入学試験要項 総合型入試〔プレゼンテーション型〕』『5. 出願書類』）

Q 【志望理由書(所定用紙④)】にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

A 出願資格2.を踏まえた上で本学部の学科を志望する理由を記述して下さい。

また、本学部での学びに関連して関心のある科学技術についても記述してください。例えば、スマートフォンなどのソフトウェア、クラウドサービス、人工知能や機械学習、5Gなどの通信ネットワーク、情報セキュリティ、IoT、ロボット、自動運転などが挙げられるでしょう。

Q 【自己推薦書(所定用紙⑤)】にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

A あなたがこれまで行った顕著な活動について、そこから得られたことも含め、科学技術・数学・物理学を活用した探求・調査活動やものづくりの活動などに関連づけて記載してください。例えば、数学オリンピック、ハッカソン、ロボットコンテスト参加、文化祭で情報技術を活用した出し物、部活動

などでデータを活用した練習計画の策定などが挙げられるでしょう。

Q 高校の推薦書の提出は必要ですか。

A 推薦書の提出は不要です。

Q 資格の証明書など、自己の能力を示す資料を提出することはできますか。

A 自己推薦書に関係する資料がある場合は、その写し（A4 サイズ）を第1次審査の出願時に併せて提出してください。

Q 途中まで日本の高校に通い、その後外国の高校に転入し卒業した場合、どのような書類を提出すればよいでしょうか。

A 複数の高校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記載された成績証明書を各高校から発行を受けて提出してください。成績証明書の提出が不可能な場合は、これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。

Q 外国の高校を卒業した場合、提出する書類で気をつけることはありますか。

A 書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を作成し、翻訳の内容が原本と相違ないことを出身高校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けた後、提出してください。なお、出願書類は、すべて原本（オリジナル）の提出が原則です。原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を出身高校等から受けた後、提出してください。

出願書類の提出について（『入学試験要項 総合型入試【プレゼンテーション型】』「7. 出願書類等の受付」）

Q 出願はインターネットで行うのですか。

A この試験はインターネットを使用するWeb出願ではありません。必要書類を記入・準備の上、出願期間内に簡易書留速達郵便で提出してください。

審査内容について（『入学試験要項 総合型入試【プレゼンテーション型】』「8. 審査および合格発表」）

Q 第1次審査で合格した後、第2次審査の出願を取りやめることはできますか。

A 可能です。第2次審査の出願期間に手続きを行わなかった場合、出願を取りやめたものとみなします。

Q 第2次審査の小論文ではどのような能力が評価されますか。

A 数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cを含め、学科での勉強に必要な基礎学力を問います。また、論理的な思考能力を問うため、1000字程度の論文を課します。

Q 第2次審査では、どのようなプレゼンテーションを行えばよいでしょうか。

A 数学、情報、物理の教科書の発展・課題学習や探究活動などの欄で紹介された課題について、またはこれらの教科に関する自分で選んだ課題について、10分のプレゼンテーションを行ってまいります。その後、10分の質疑応答を行います。

Q プレゼンテーションの際に、PCを使ってもよいでしょうか。また、プロジェクタは用意してもらえますか。

A 発表用に、Microsoft Windows およびPowerPoint、PDF表示ソフトウェアをインストールしたPCおよびプロジェクタをこちらで用意します。特別な機器やソフトウェアを利用する場合は、自分で用意してください。なお、発表のスタイル・機器については、第1次審査合格者に対し別途問い合わせます。

Q プレゼンテーションの順番はいつわかりますか。

A 試験当日に面接控室の掲示で確認してください。

Q プレゼンテーションは1人あたり10分とありますが、多少時間が延びてもよいのでしょうか。

A 審査の公平を期するために、できるだけ定められた発表時間を守ってください。

Q プレゼンテーション後の質疑応答ではどのようなことが質問されますか。

A プレゼンテーションの内容に関して、その課題を選んだ理由や、問題設定の是非、議論の妥当性や、結論の意義などについて、質問します。

その他の質問

Q 昨年度（2024年度）の入試結果を教えてください。

A 2025年度入試から初めて行う審査ですので、過去の入試結果はありません。

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕【理工学部】で不合格になった場合でも、南山大学の学校推薦型選抜や一般選抜を受けられますか。

A 不合格になった場合でも、本学の学校推薦型選抜や一般選抜（他学部を含む）を受けることができます。その際、この試験を受験したことは有利にも不利にも働きません。

Q 入学手続の延期はできますか。

A 入学手続の延期はできません。所定の期間に手続を行わない場合、入学の意思がないものとみなします。

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕【理工学部】に合格し入学手続をした後、南山大学の他の学科に合格した場合、学科を変更することができますか。

A 学科を変更することは可能です。新たに合格した学科の入学手続時に、所定の手続きを行ってください。